

# 初心者セッション： データ分析の進め方

BeginneR Session: Data Analytics 101

26<sup>th</sup> April 2025, Tokyo.R #117

Yuta Kanzawa @yutakanzawa



Senior Data Scientist at Zurich Insurance Company Limited, Japan Branch



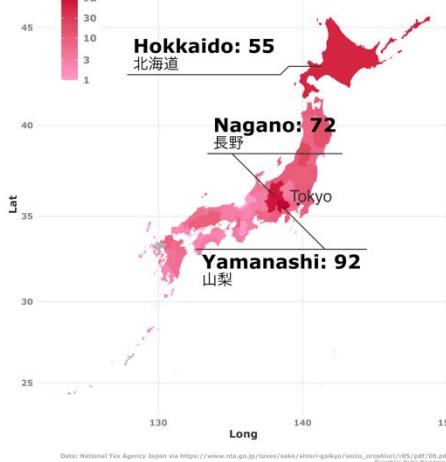
# 神沢雄大 Yuta Kanzawa

- データサイエンティスト@チューリッヒ保険会社
  - 日本支店
- Twitter: [@yutakanzawa](https://twitter.com/yutakanzawa)
- 好きなもの：オペラとワイン
  - ワーグナー
  - ブルゴーニュ (WSET Lv 3→?)
- 使用可能言語：7
  - 人間：日本語、英語、ドイツ語
  - コンピューター：R, Python, SAS, SQL



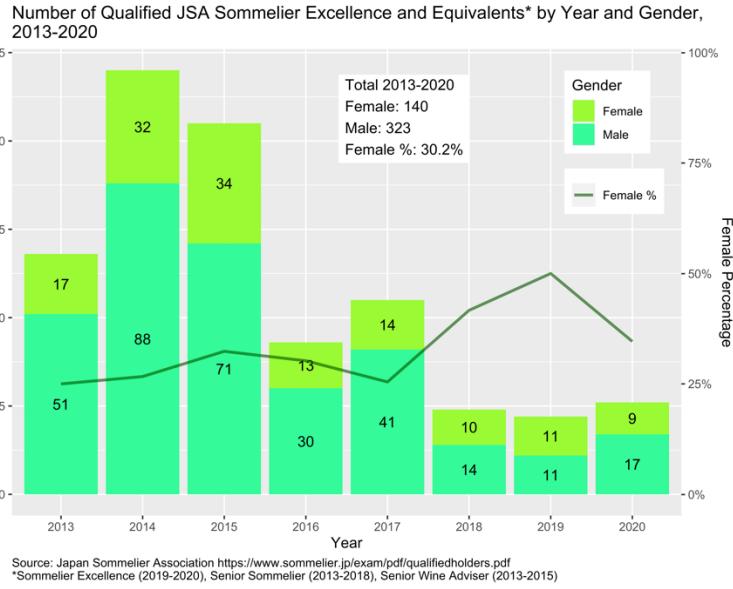
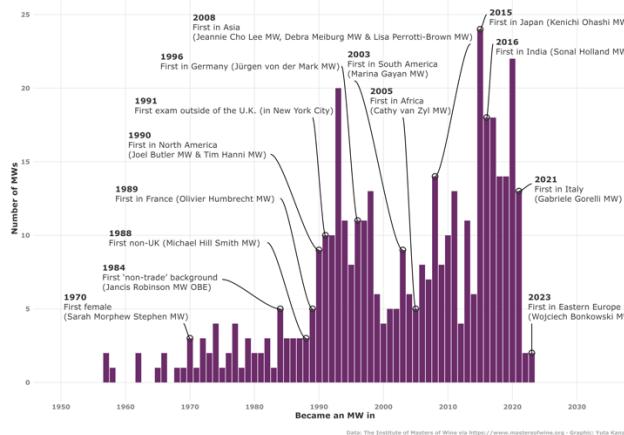
# ポートフォリオ

Number of Wineries in Japan in 2022, by Prefecture

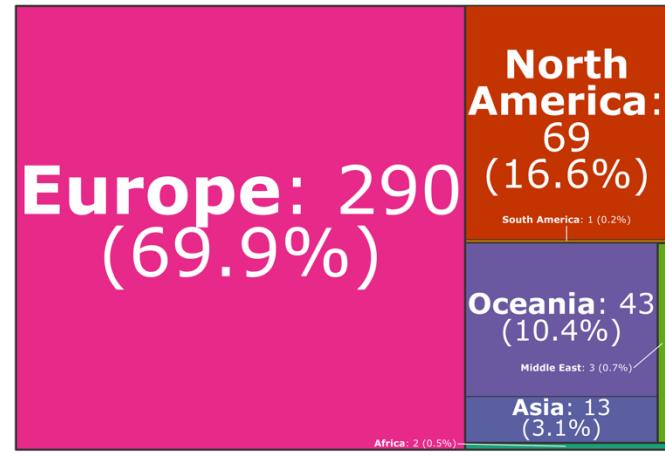


415 Active Masters of Wine by Year of Qualification

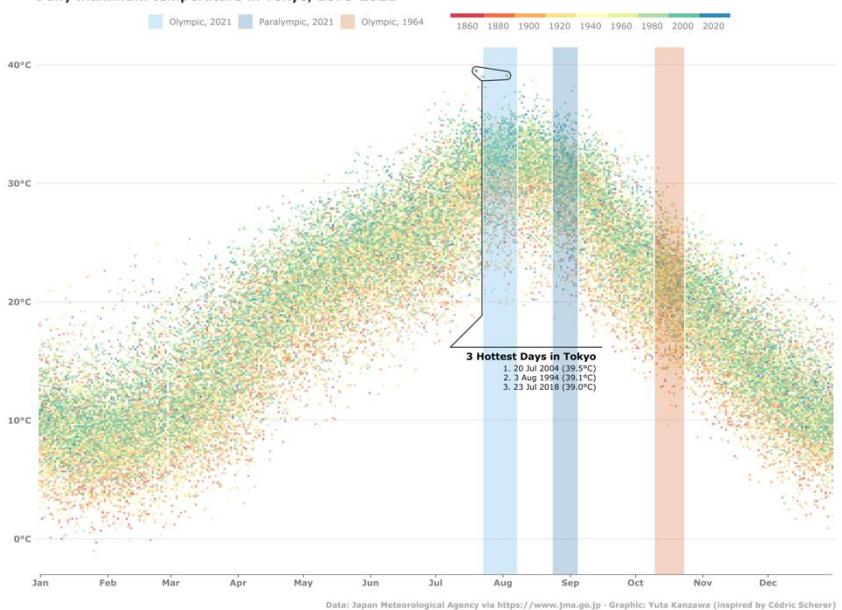
As of May 2023, 500 people have gained the title since the inaugural exam in May 1953. NB: 85 deceased or resigned MWs are not counted here.



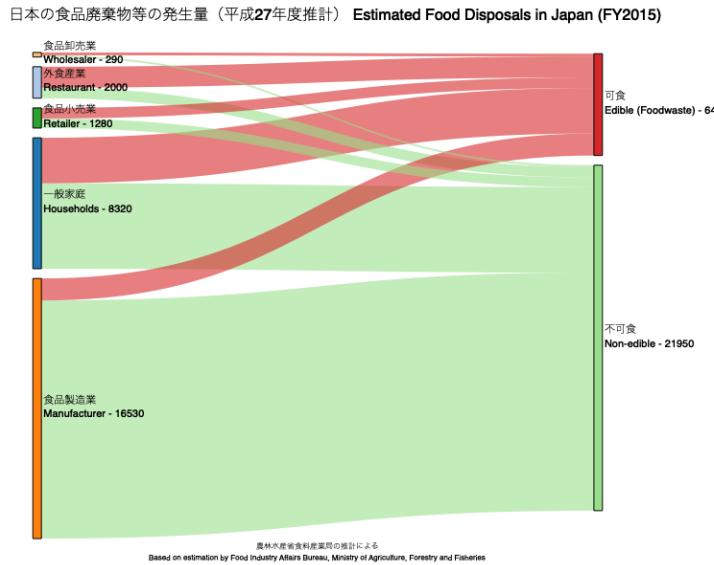
Number of Active MWs by Region Based in  
70% of active MWs are based in Europe (mostly Western Europe). NB: Some MWs are multi-based.



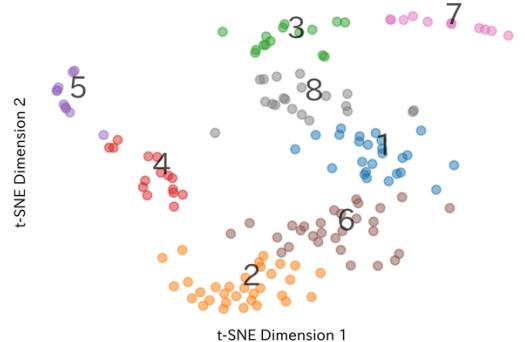
Daily maximum temperature in Tokyo, 1875-2021



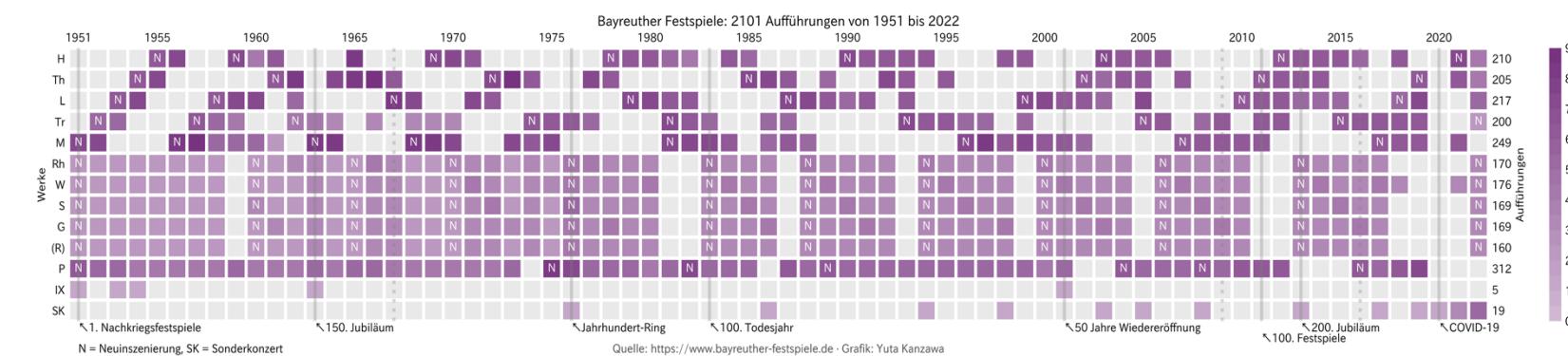
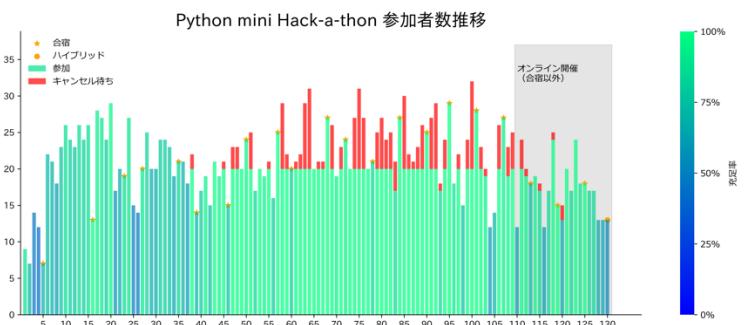
# ポートフォリオ（参考までにR以外も）



Clustering of Countries and Regions  
by Wine Trade Values & Production/Consumption Volumes in 2017 using t-SNE and K-Means



Sources: UN Comtrade (<https://comtrade.un.org/>), FAOSTAT (<http://www.fao.org/faostat/>)



# アジェンダ

- 今日話すこと
  - ビジネスにおけるデータ分析フロー
  - 各ステップの詳細
- 今日話ないこと
  - R
- 対象（以下のいずれか）
  - データ分析を初めてする人
  - なんとなくデータ分析をしている人

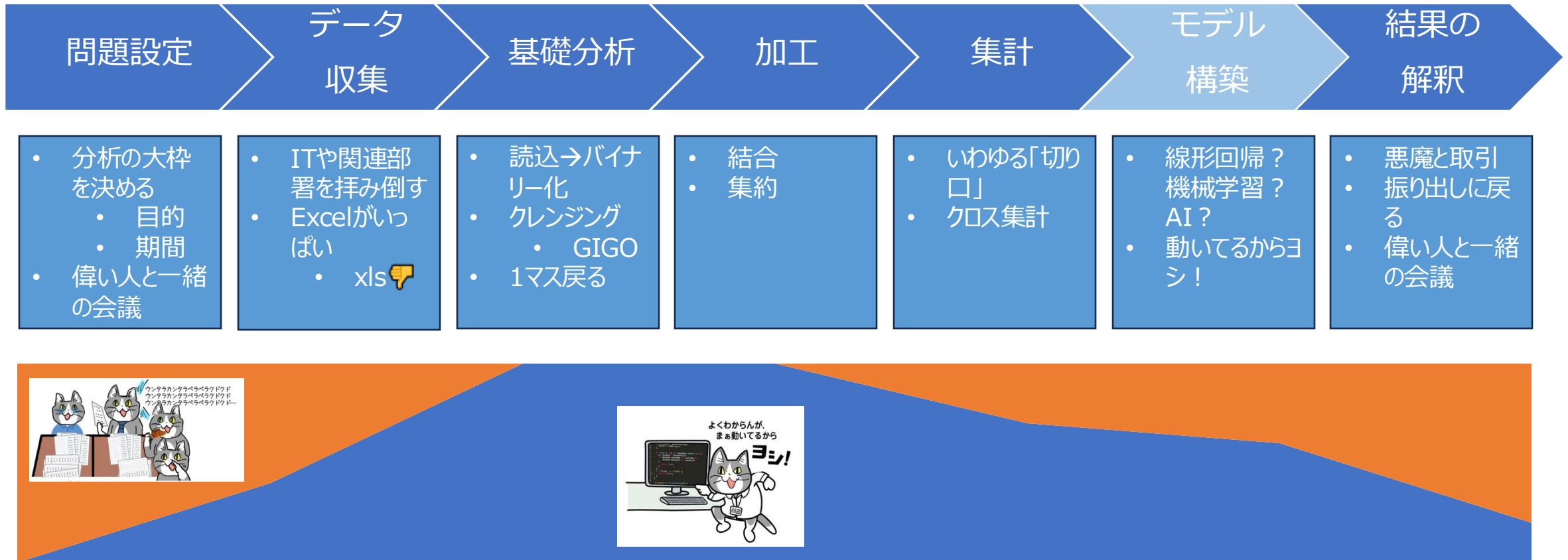
# TL;DR

- ・データ分析はフローであり、ループであり、スパイラル（螺旋）
  - ・問題設定 → 結果の解釈 を繰り返す。
    - ・期待値調整、ドメイン知識
    - ・他部署との協力
  - ・ビジネスを意識する。
    - ・技術的な映え要素は不要。

# データ分析フロー

Data analytics flow

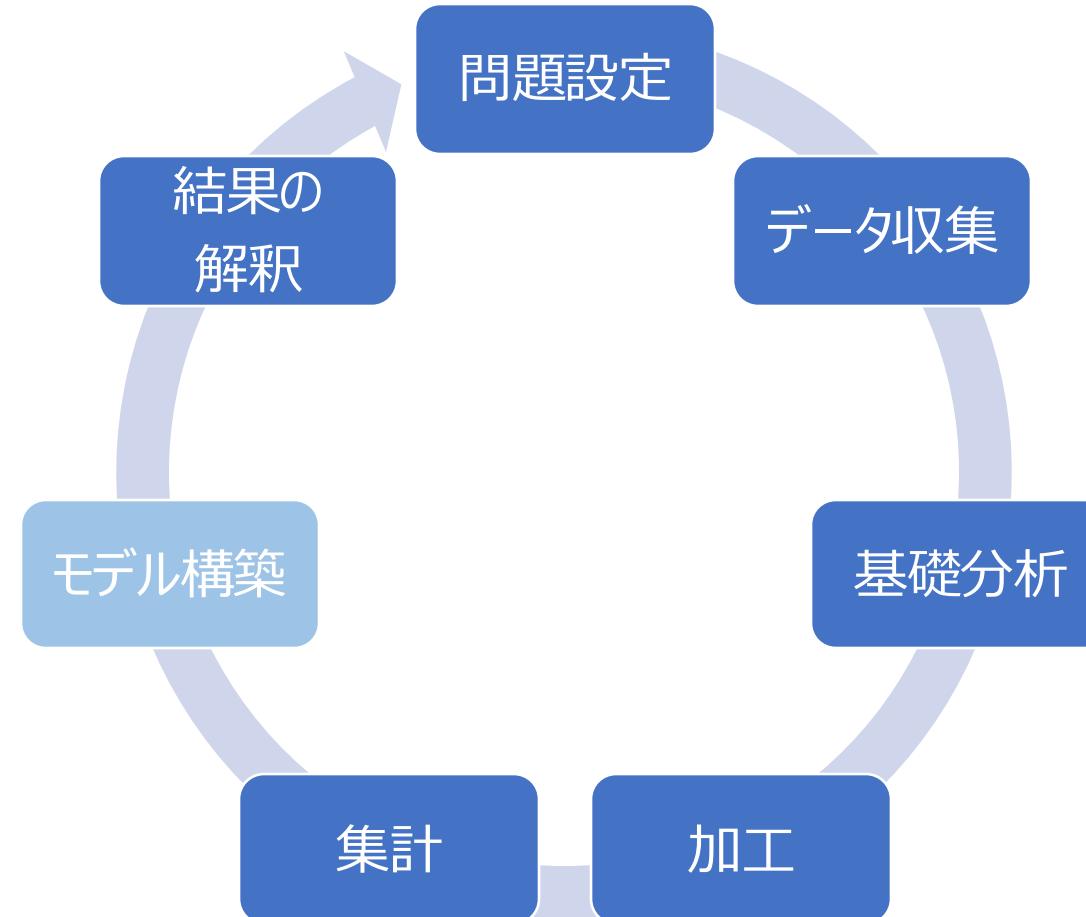
# 一般的な流れ



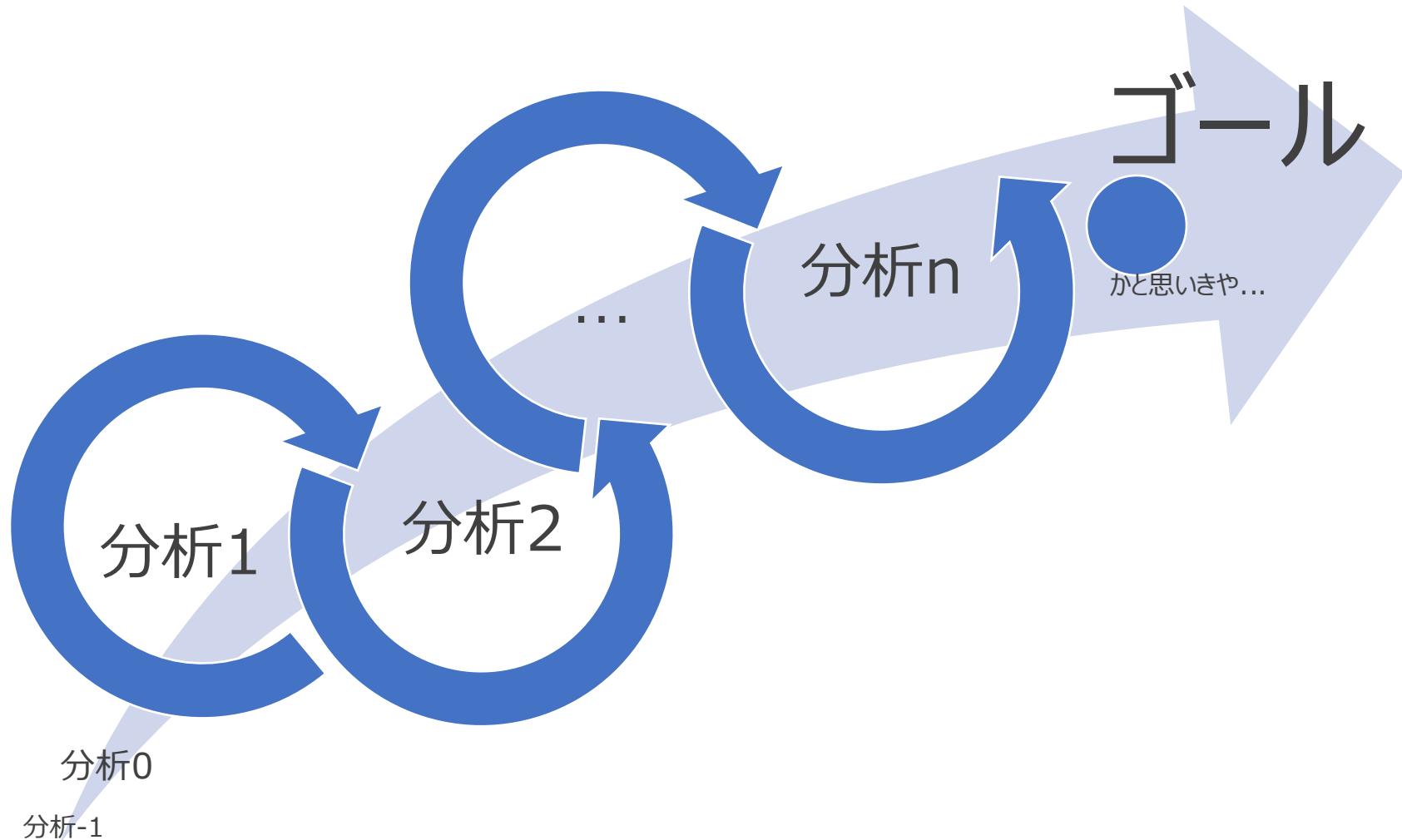
\* [https://twitter.com/karaage\\_rutsubo/status/1853190311645974904](https://twitter.com/karaage_rutsubo/status/1853190311645974904)

\* [https://twitter.com/genbaneko\\_bot/status/1265783114959212544](https://twitter.com/genbaneko_bot/status/1265783114959212544)

# 分析ループ°



# 分析スパイラル（螺旋）



# 各ステップの詳細

Details of each step

# 問題設定

- ・分析の大枠を決める（要件定義）。
  - ・目的
  - ・期間
  - ・工数
- ・期待値調整！
  - ・失敗すると後で苦労することに…
- ・自社や顧客のビジネスのことを分かっていないと、作業するだけになってしまう。（ドメイン知識）

# データ収集

- ITや関連部署を倒す。
  - データベース、テーブル、定義書
  - データソースとなるソフトウェア
  - コンプライアンス
- Excelがいっぱい。
  - 打倒xls形式！

# 基礎分析とデータクレンジング（1/2）

- ・データ読込→バイナリー化
  - ・データ型を保存する。  
→ 他の言語でも読み書きできるparquet形式がおすすめ（arrowパッケージ）。
- ・定量的評価
  - ・要約統計量、相関係数
- ・定性的評価
  - ・分布の確認
    - ・統計量、ヒストグラム、散布図

# 基礎分析とデータクレンジング (2/2)

- 外れ値、異常値
  - 箱ひげ図、分位点、正規性
  - 対処法：削除、上下限値置換
- 欠測値（欠損値）
  - 原因に応じた対処法：削除、層化平均値代入、多変量補完、多重代入法
    - 時系列データ
- 値の重複
  - 対処法：削除、集約

# 加工

- ・データエンジニアが担当することも。
- ・結合
  - ・結合キーを基礎分析で確認しておく。
  - ・サイズが大きい場合は、データベース上で実行した方がよい。
- ・集約
  - ・日次 → 週次
  - ・明細 → 属性単位

# 集計

- ・いわゆる「切り口」
  - ・属性（年代、居住地、職業、など）
  - ・時系列（年、月、週、曜日）
- ・組み合わせ → 「クロス集計」
  - ・Excelのピボットテーブル

# モデル構築

- 目的
  - 説明？予測？
- 多重共線性？
  - 予測が目的であればそのままでもよいかも？
    - ただし、**モデルの解釈性**は低下する。
- 線形回帰？機械学習？AI？
  - 映え要素は不要。→ 目的に実直に。



\* [https://twitter.com/genbaneko\\_bot/status/1265783114959212544](https://twitter.com/genbaneko_bot/status/1265783114959212544)

# 結果の解釈

- 「悪魔」と取引
  - 科学的な解が正解とは限らない。
  - ただし、良心を失ってはいけない。
- 振り出しに戻る
- モデルやインサイトが社会的バイアスを助長していないか？
- 偉い人との会議
  - 技術的な話は不要。 → ビジネスの話をする。
  - 'So, what?'

# まとめ

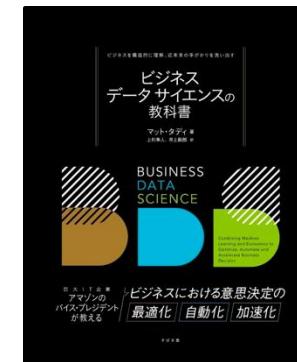
Long story short

# Long story short

- ・データ分析はフローであり、ループであり、スパイラル（螺旋）
  - ・問題設定 → 結果の解釈 を繰り返す。
    - ・期待値調整、ドメイン知識
    - ・他部署との協力
- ・ビジネスを意識する。
  - ・技術的な映え要素は不要。

# 参考書

- ・『イシューからはじめよ』改訂版（安宅、2024年）
- ・『ビジネスデータサイエンスの教科書』（Taddy、2020年）
- ・『Pythonデータ分析 実践ハンドブック』（寺田、神沢、@driller、辻、2023年）



# Enjoy!